

## 1 2月定例記者会見要旨

定例記者会見を始めさせていただきます。

平成28年も終わり、平成29年を迎えます。新しい年を皆さんと迎えることができることをうれしく思っています。

平成28年は、4月の熊本地震をはじめ、観測史上2番目に多い上陸数となった台風の上陸などの自然災害に見舞われ、多くの地域や住民の皆様被害をもたらしました。そうした自然の猛威を実感させられる年でありましたが、幸いにも、本市では、そうした被害もない1年であったと改めて安堵しています。

平成28年の市政を振り返りますと、まず、気象庁のモデル事業として、6月から9月までの4か月間にわたり、酒井気象予報士を派遣いただき、出水の期間、適切な気象情報の解説と防災対応の助言をいただくなど、本市の防災力の強化に大きく繋がる1年であったと実感しています。

また、6月には、「子育て環境日本一」を目指す、本市の取組みの一つとして、JR佐貫駅東口に「龍ヶ崎市駅前こどもステーション」をオープンするとともに、12月11日には「子育て応援都市」を高らかに宣言をさせていただきました。

本宣言を新たなスタートとして、平成29年は、子ども達の健やかな成長と子育てを市民全体で応援していく機運を醸成しながら、出会い・結婚・妊娠・出産・子育て・教育それぞれのステージに応じた取組みを更に推進してまいります。

8月には、リオオリンピックが開催され、本市からは、流通経済大学に勤務されるトライアスロン男子代表の田山選手、フィジー代表として男子柔道に出場されたナウル選手、また、流経大出身で男子7人制ラグビーに出場された合谷選手が出場され、市民の皆様が応援する中で、2020年の東京オリンピックや将来に繋がる活躍をされました。

本市におきましても、東京オリンピックに向けて、キューバ柔道代表チームのホストタウンに決定されるなど、市民の皆様とともに、4年に1度のスポーツを祭典を盛り上げていく準備を引き続き、進めてまいります。

また、消費増税の先送りによりまして、消費増税時の相乗り効果による経費削減の好機ととらえた駅名改称も先送りを決断しましたが、引き続き本市の玄関口である、常磐線の駅名に自治体名を冠することの重要性は何ら変わるものではありません。

引き続き、駅名改称の実現に向けて、先送り後の消費税率改正時期などを改称時期の候補として、JR東日本水戸支社と引き続き協議してまいります。

駅名改称と合わせた一体的な取組みとして、道の駅の整備や「常磐線佐貫

駅周辺地域整備基本構想」に基づき、東口駅前広場内ロータリーの渋滞解消や利便性を高めるのをはじめ、駅に近接する「道の駅」の整備など、本市の玄関口にふさわしい都市機能の充実を図ってまいります。

本年一年の市政のいくつかを述べさせていただきましたが、この1年の取り組みの成果を平成29年度からスタートいたします「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の重点目標である「子育て環境日本一」、「市民活動日本一」、「防災・減災日本一」、「スポーツ健幸日本一」の4つの柱で、龍ヶ崎新時代の歩みを更に力強く進めてまいります。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに商工観光課から2件の情報でございます。

1件目は、地域おこし協力隊の募集の情報提供でございます。

本市では、平成29年4月1日より、3大都市圏等の都市部に生活の拠点を置く人材を誘致し、地域力の維持と強化を図ることを目的としまして、地域おこし協力隊を募集いたします。

地域おこし協力隊の方々には、本市の自然を活かした農業とスポーツ宣言都市の推進による交流人口の拡大と地域活性化を促進するため、外部、特に都市部からの新鮮な視点で、本市を見つめ直していただき、市民の皆様とともに地域の活性化の活動へと繋げていきたいと思っています。

市民の皆様といっしょに自由な発想で、本市の発展に向けた活動や施策を見出しただけの、やる気、元気、熱意と行動力のあふれた方をお待ちしています。

続きまして、2件目の情報提供でございます。

龍ヶ崎市観光物産協会では、新年1月6日（金）より二代目となります龍ヶ崎観光アンバサダーの募集を開始いたします。初代龍ヶ崎観光アンバサダーの皆様には、平成27年10月の就任以降、約1年半の間、本市の観光資源や物産品を、各種イベントやマスコミなどを介し、広く市内外へ紹介していただきました。

龍ヶ崎新時代を象徴するような、明るく元気で活発な二代目龍ヶ崎観光アンバサダーを募集いたしますので、多くの皆様にご応募いただきます事をお願いいたします。

続きまして、高齢福祉課からの情報提供でございます。

高齢者の健康長寿をたたえる事業の一環として、市内にお住まいの結婚してから50年を迎えられるご夫婦を対象といたしまして、長年にわたる地域

への貢献を感謝するとともに、節目となるお祝いと、今後のお二人のさらなる健康長寿を願うため、当市初となる合同金婚式を開催いたします。

今回、合同金婚式の開催にあたり、50組の募集を行いましたところ、現在、18組の応募申込みがございました。なお、参加される方の最高齢者は、中根台にお住まいの、旦那様が86歳、奥様が81歳のご夫妻でございます。

合同金婚式の開催日は新年1月29日（日）、会場は、市内馴馬町の「アイガーデン下平」で行います。

また、式の内容でございますが、2部構成となっており、第1部が記念式典、第2部が会食となっております。

第1部の式典では、参加されたご夫婦へ感謝状並びに記念品の贈呈を行ってまいります。

第2部では、ご夫婦の思い出を語り合える場として、会食の時間をご用意いたしました。

この会食の席では、「思い出のスライドショー」と題しまして、結婚当初から現在に至るまでの夫婦の思い出の写真を、当時のヒット曲にのせてご紹介いたします。

次に、ご夫婦お互いの思いを綴った手紙の紹介も行います。

これは、夫から妻へ、妻から夫へと、50年にわたり苦楽を共に歩んできたパートナーへ、普段思ってもなかなか言えない感謝の言葉やねぎらいの言葉、メッセージなどを書いた手紙を、お互い交換していただき、あわせて、二人の思い出のエピソードなども司会者のインタビュー形式で披露していただくものになっています。

最後に、平成28年中は記者クラブの皆様には、本市の様々な取組みを熱心にご取材をいただき、深く感謝を申し上げます。平成29年につきましても、さらに取材していただけるよう、積極的な情報提供に取り組んでまいりますので、引き続きお願いを申し上げ、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。

なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。